



令和3年11月5日

報道機関 各位

国立市市長室広報・広聴係

**全国公募で選ばれた  
各分野のトップランナーが地域を超えて連携  
国立・木更津・狭山3市で  
「関東Bizネットワーク」が始動  
地域事業者を支援します  
地域をまたいだ商品開発や販路拡大で  
地域事業者の支援強化を実現します**

国立市(東京)、木更津市(千葉)、狭山市(埼玉)の関東地方の3ビジネスサポートセンター(図1参照)は、地域を跨ぐ商品開発・販路拡大に向けた「関東Bizネットワーク」を、令和3年12月より始動します。

国立市では、「中小企業に寄り添った支援を行うことで、持続可能な市の発展を実現したい」と令和3年11月に東京都初の公的Bizモデル型経営相談所を導入・設置。現在、全国27か所に広がるBizモデルでは、近畿、中国・四国、東北・北海道と、続々とエリア内での連携が進んでいます。

この度、満を持して、関東地方でもBizネットワークが始動。

11月27日(土)11:00-12:00/狭山市役所にて、報道機関向けの取り組みの説明会を開催します。

当日は、Bizモデルの創始者である小出宗昭氏や、国立市(東京)、木更津市(千葉)、狭山市(埼玉)のセンター長とプロジェクトマネージャーも集結しますので、ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

記

## 「関東 Biz ネットワーク」合同記者発表会

- 1. 内容** 新型コロナウイルス感染症拡大により、中小・零細企業は大きな困難に直面しています。政府の新型コロナウイルス対策により企業倒産は半世紀ぶりの少なさとどまっているものの、無利子・無担保の制



度融資は多くが 2022 年末までに返済が始まります。しかし、返済原資となる収益の改善は遅れており、収益力が戻らなければ倒産が増加に転じかねません。まさに、今、売上アップ・利益アップを通じた収益力の改善が不可欠な時期にあるのです。

そこで、売上アップに特化した支援拠点である Bizモデル型支援拠点では、プロフェッショナル集団として、多様なビジネス分野で高い実績をもつセンター長らの地域を超えた連携により、中小企業や創業希望者への支援の強化・高度化を図り、さらなる地域活性化への貢献を目指します。これまで 2020 年 11 月の近畿、2021 年の中国・四国、東北・北海道と地域連携を行っており、具体的な成果事例も生み出されています。(添付資料②参照)この度の関東 Biz ネットワーク始動は全国 Biz 連携への足掛かりとして、関東 3 拠点間での支援強化はもちろん、全国 27 か所の Bizモデル型経営相談所の資源を活かしたサポート強化を行ってまいります。

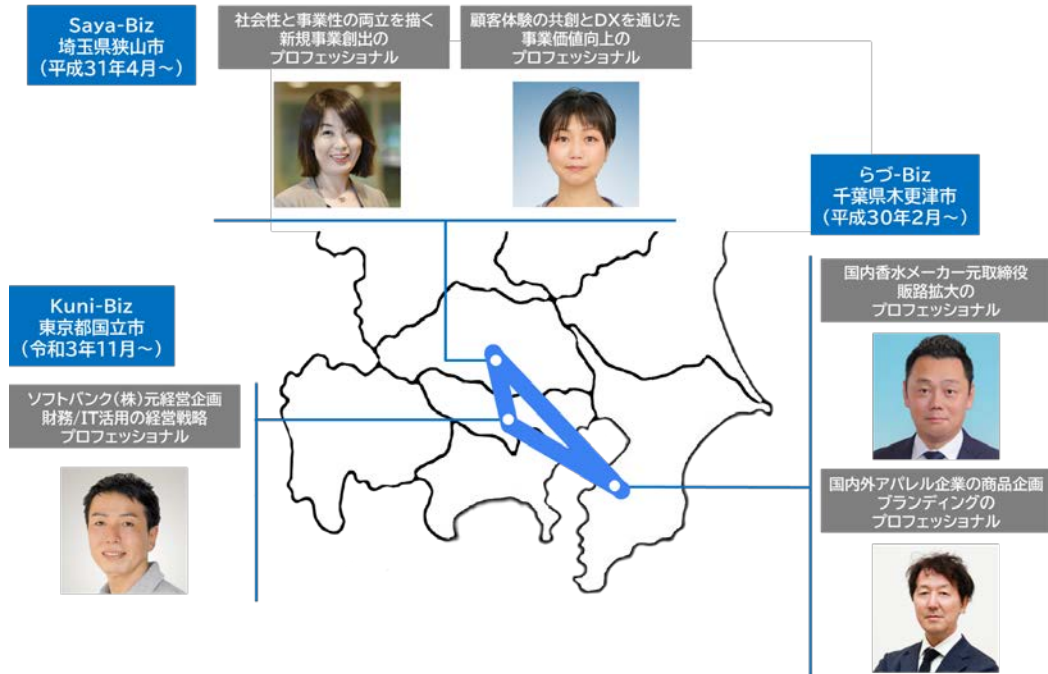
- 1. 日時** 11月27日(土)午前11時～正午  
※午後は合同勉強会も開催(取材可能)
- 2. 場所** 狭山市役所6階会議室(埼玉県狭山市入間川1-23-5)  
※取材される場合は、下記までお問い合わせください。  
狭山市ビジネスサポートセンター  
TEL: 04-2948-8751(前日午後5時までに連絡ください。)
- 3. 出席者** 狭山市長・小谷野剛氏、狭山商工会議所会頭・後藤清氏  
Bizモデル創始者・小出宗昭氏  
狭山市、木更津市(千葉)、国立市(東京)のセンター長、プロジェクトマネージャー

問い合わせ

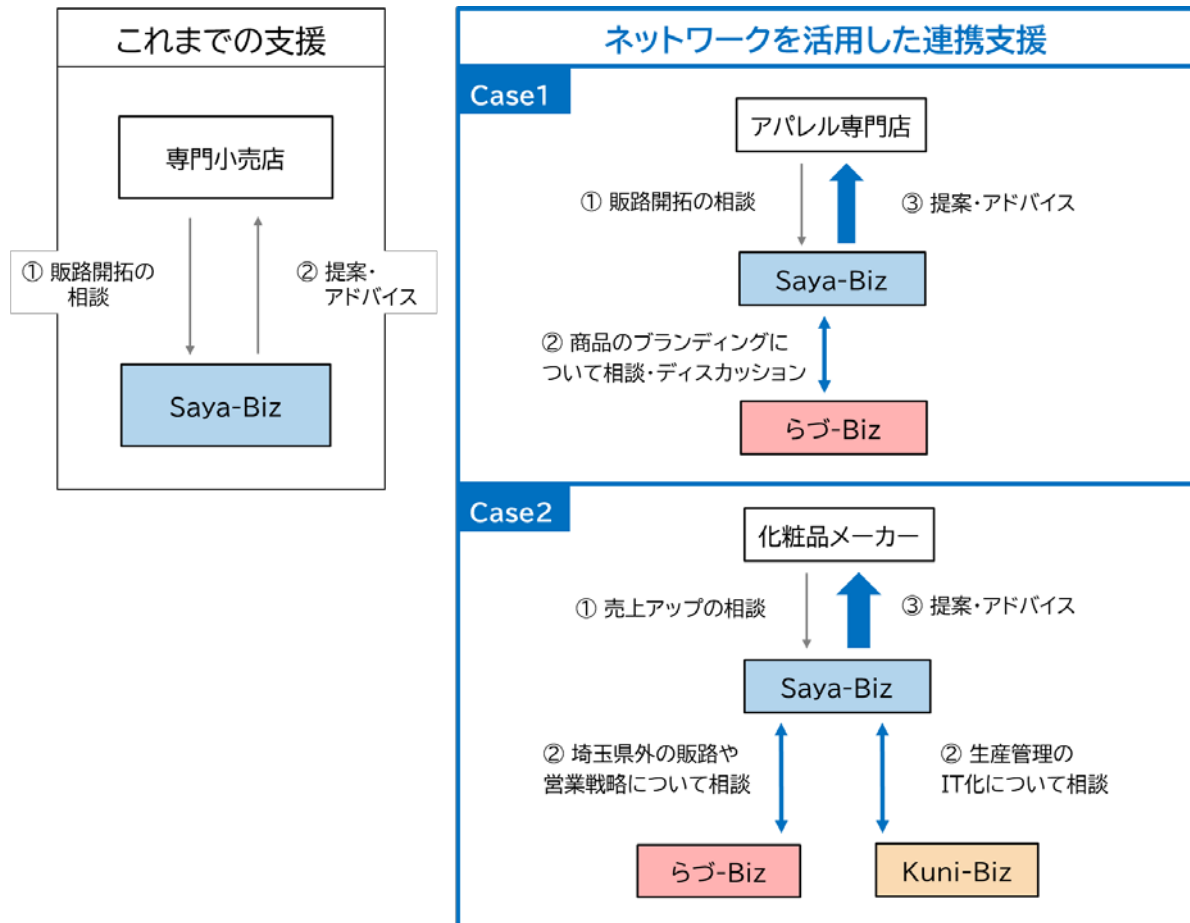
国立市生活環境部 まちの振興課商工観光係  
TEL: 042-576-2111(内線348)



<図1：関東 Biz ネットワーク>



<図2：連携支援イメージ(Saya-Biz を例に)>





### ■ ビズモデルとは

全国 27 自治体に広がる自治体主導の中小企業支援の取り組みのことで、売上アップに特化した無料のビジネスコンサルティングを地域の中小企業や起業家に提供しています。お金をかけずに知恵を出してビジネスの流れを変えることは、資金不足、人手不足の中小・小規模事業者支援において求められるポイントであり、地域企業が持っている可能性を引き出し、地域を元気にする地域活性化の新しい取り組みとして、注目されています。

### ■ ビズモデル型経営相談所のセンター長・プロジェクトマネジャーの特徴

センター長・プロジェクトマネジャーは全国公募で選ばれた様々なビジネスエリアのトップランナーです。ビズモデルと呼ばれる公的支援拠点・経営相談所のセンター長、プロジェクトマネジャーの募集と選定方法は特徴的で、全国公募で行われます。少なくとも 100 名、多いときには 400 名もの応募者から選抜されます。ビズモデルのもつ意義に共感し集った、様々なビジネス分野で高い実績をもつトップランナーが各地で支援を行っています。

- (例) 広島県福山市・福山ビジネスサポートセンター／Fuku-Biz(フクビズ)  
プロジェクトマネジャー 池内精彦氏：元外資系ラグジュアリーブランド日本法人 CEO
- (例) 京都府福知山市・福知山産業支援センター／ドッコイセ！biz(ドッコイセビズ)  
センター長 西山周三氏：現役酒造会社社長
- (例) 岐阜県大垣市・大垣ビジネスサポートセンター／Gaki-Biz(ガキビズ)  
センター長 正田嗣文氏：元旅行代理店パリ支店責任者

### 添付資料①：関東 Biz ネットワークメンバー紹介(開所順)

#### 木更津市産業・創業支援センター／らづBiz(ラズビズ)平成 30 年 2 月開設



#### センター長：瀬沼 健太郎(せぬま けんたろう)

2002 年、株式会社フィッツコーポレーションに入社し、当時日本ではニーズの少なかった香水の市場拡大、そして「Made in Japan 香水」の開発と国内・海外への販路拡大に取り組む。営業ゼネラルマネジャーを経て、2012 年に取締役 営業統括に就任。2015 年に JETRO(日本貿易振興機構)から「輸出有望案件企業」に選出されるなど、年商 14 億円(2002 年)から 62 億円(2017 年 6 月期)への事業拡大に貢献。



プロジェクトマネージャー：前田 正浩(まえだ まさひろ)  
都内アパレル企業のマーチャンダイザーからブランドマネージャーとなり 20 代後半までに百貨店インショップ展開 15 店舗 15 億円を達成、渋谷で単位面積あたりの年間売上 1 位、その後、企画デザイン・ブランドマネージャー・セレクトショップディレクター・バイヤーを兼ね 5 つのブランド作る。企画デザインでスポンサー付の新規ブランドでは 1 年目で 5 店舗の直営セレクトショップ展開と全国 80 店との取引を開始。独立後は自社ブランドのデザインやバイヤーを兼任しつつ、他社約 50 ブランドの商品企画やセレクトショップのコンサルティング、北欧ブランドの総代理店などの経営を行う。

#### 狭山市ビジネスサポートセンター／Saya-Biz(サヤビズ) 平成 31 年 4 月



センター長：小林 美穂(こばやし みほ)  
一橋大学商学部卒業後、マスコミ業界を経て経営コンサルティングファームで事業変革手法を習得、建築資材・産業用資材・食品製造など BtoB 企業において、売上増・製造コスト削減等の実績を残す。近年は新規事業創出支援や中小企業・創業向けワークショップも年間数十件以上経験、SDGs 関連事業やソーシャルビジネスの知見も深い。関東地方 Biz モデル初の女性センター長。



プロジェクトマネージャー：渡部 暁子(わたなべ あきこ)  
大学卒業後、外資系コンサルティングファームに入社。製造・情報通信・金融業の DX、CRM 戦略、グループ経営管理等、多岐に渡るプロジェクトの立上げ・推進に従事。近年はくらしの豊かさにつながるライフスタイル領域を中心に、共創マーケティングの知見も深い。縁ある埼玉西部地域で、資本×地域のプレイヤーを橋渡し、地域の資産を事業価値向上につなげていく。

#### くにたちビジネスサポートセンター／Kuni-Biz(クニビズ) 令和 3 年 11 月開設

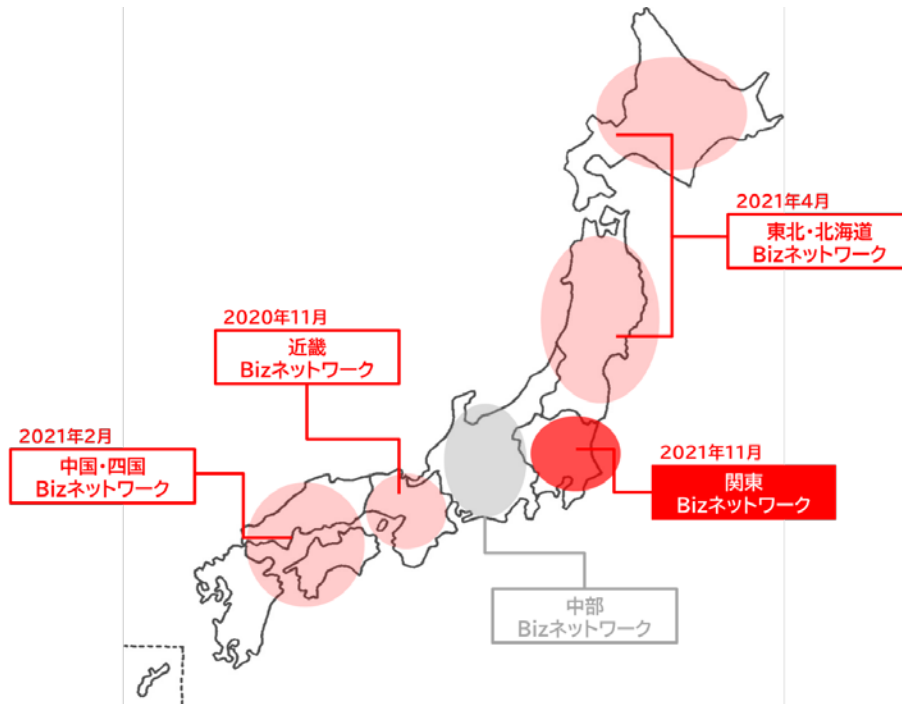


センター長：小島 和敏(こじま かずとし)  
青山学院大学卒業後、ソフトバンク株式会社に入社。営業・商品企画・技術部門等を経て、経営企画として財務や IT などの高度な専門知識を活用し、国内でも動きの速い同社にて多様な事業転換・ビジネスモデル開発・プロジェクト推進に携わる。令和 3 年に行われた全国公募にて応募総数約 300 の中から選ばれ、都内自治体初の Kuni-Biz センター長に就任。

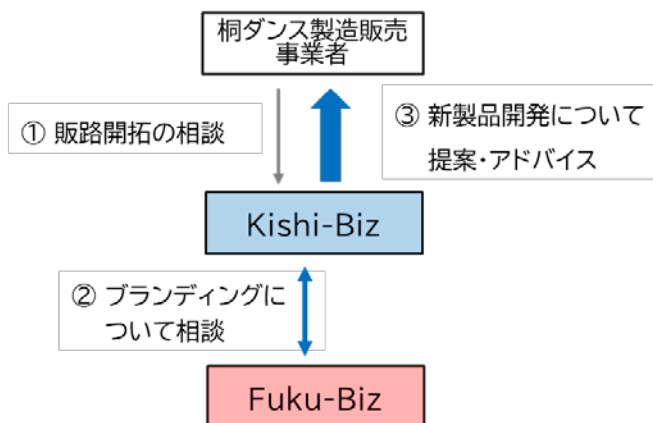


## 添付資料②：全国の Biz ネットワーク連携

### ■全国の Biz ネットワーク



### ■Biz ネットワークを活かした支援事例



近畿 Biz ネットワークの一員である大阪府岸和田市の Kishi-Biz(キシビズ)では、岸和田市の桐たんす製造販売事業者から、販路拡大についての相談を受けました。同社の職人(伝統工芸士)の技と、上質桐材の調湿・防虫・耐火性に優れているという特徴から、Kishi-Biz では「百貨店の上顧客をターゲットにした新たなコンセプトの保管ボックス」の開発を提案。ブランディングに関しては、世界的に有名なブランドの日本の旗艦店で店長経験のある池内精彦氏(中国・四国 Biz ネットワークの一員である広島県 福山市の Fuku-Biz(フクビズ)所属)のアドバイスを受けました。1年がかりで開発し、発表間近です。